

F Mアップルウェーブ 第128回放送番組審議会

開催日時	令和4年6月25日(土) 12:00~13:00
開催場所	菊富士本店(弘前市坂本町)
出席委員	委員長 佐藤 信隆、副委員長 鳴海 清彦 委員 佐藤 浩之、高村 智子、石田 有希子、福島 由美
会社側出席者	代表取締役社長: 一戸 勝美、常務取締役: 倉田 昌直 放送部部長: 佐藤 誠、副部長: 花田 由香子
議題	(1) 番組に対する意見要望 (2) 次回開催日について 9月17日(土)
議事の概要	<p>○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。</p> <p>1) 課題番組 『知って!備えて!みんなの防災ラジオ』</p> <ol style="list-style-type: none">① 進行役と防災士の二人が噛み合わない、話が飛び飛びに感じていた。コロナ対策のため別々のスタジオで番組を進めていたというのは驚いたがそれが原因かもと感じた。防災の知識をクイズ形式で紹介していたのがよかった。② 冒頭に「防災マップを用意してほしい」と呼び掛けたり、番組内容の目次(コンテンツ紹介)などがあったため、実際に準備して聴くことができ、参加する気持ちになれた。有事の際、コミュニティFMが情報ツールとして役立つ。防災マイスターの授業は難しく身になった感じがしなかったが、番組を聴いて行動に移すよう背中を押された気持ちになった。③ わかりやすく聞きやすい防災士の説明に対して、進行役が一般人として前のめりに質問していく雰囲気は、自分が疑問に思ったことを聞いてくれている感じがして逆に良かった。災害が増えている中で毎年続けてほしい番組。被災地の方の話は、映像などで被害の様子を見るより、実際の体験談として聴けるので良かった。各地方の防災についても聞いてみたい。ぜひ防災に関するイベントをやってほしい。④ 冒頭で二人が別々の場所だと言っていたので、どんな風になるか気になったが違和感なく聞くことができた。ただ、アイコンタクトができないせいなのか、多少噛み合わない場面もあった。内容も非常によく、他局の放送局とつないでインタビューする場面では、実際に被災した人の感情が伝わってきてよかった。⑤ 番組に沿って防災マップを開いていたのに違う話に代わってしまうことがあった。「人がいる場所で起こることが災害」「季節性のある災害と、時期・時間を問わない災害とがある」という風に災害について説明していたので、そういった視点で、私たちの身近な部分からひも解いてほしい。⑥ 弘前に特化した防災番組でとても意義深いものであった。突発的な災害と、ある程度供えられる災害など様々なタイプの災害があるためそれぞれに対してどう対処すればいいのかが、実用的な話がありよかった。市民に対する啓発にもなった。なにより防災士の開設がとてもわかりやすく、進行役のテンポもよく、3時間飽きずに聴くことができた。 <p>【審議機関の答申または改善意見の公表】</p> <ol style="list-style-type: none">1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布2) FMアップルウェーブのホームページに掲載